

# 2026年度 事業計画書 別紙

自 2026年4月1日  
至 2027年3月31日

2026年5月22日  
一般社団法人 日本自動車車体工業会

我々は自動車車体産業の総合的な発達を図り、もって我が国産業経済の発展と国民生活の向上に寄与していく。

1. 会員の企業活動に有用な各種調査を実施し、情報提供する。
2. 関係官庁・諸団体との連携により地球環境の維持並びに車両の安全性向上を図る。
3. お客様の要望に応える商品作りのため、技術レベル向上を支援する。
4. 海外との交流推進し、商品並びに諸活動の国際化を図る。
5. 法令並びに社会規範遵守を最優先し、一般社団法人としての社会的責任を果たしていく。

一般社団法人日本自動車車体工業会

	ページ		ページ
1. 2026年度事業計画	1	3. 部会事業計画及び部会役員	30
1-1. 2026年度事業計画概要	2	3-1. 現状認識と活動方針	31
1-2. 2026年度年間本部関連会議／行事日程表	4	3-2. 部会役員一覧	35
1-3. 2026年度組織及び委員会委員一覧	5	3-3. 部会事業計画	43
(1) 組織図	6	・特装部会	44
(2) 委員会委員一覧	7	特装分科会	45
(3) 関連団体委員一覧	20	・特種部会	46
2. 2026年度委員会事業計画	25	・トラック部会	47
・中央技術委員会	26	・バン部会	48
・環境委員会	27	・トレーラ部会	49
・中央業務委員会、中小会員ネットワーク強化WG、		・バス部会	50
安全衛生活動WG、現地現物による技能系社員研修	28	・小型部会	51
・広報委員会、商用車ショー企画委員会	29	・資材部会	52
		4. 支部事業計画及び支部概要一覧	53
		4-1. 事業計画一覧	54
		4-2. 支部概要	55

# 1. 2026年度事業計画

## 1 - 1. 事業計画概要

## 1 - 2. 年間本部関連会議/行事日程

# 1-1. 2026年度事業計画 概要

## <取り巻く環境>

### = 世界経済の動向 =

- ・世界経済は「低成長だが底堅い」局面。
- ・金融政策の転換期とウクライナ・**中東情勢**、米中対立、**保護主義的通商政策の拡大**による、**投資・貿易の不確実化**の進行
- ・AI・技術投資による押し上げが期待される

### = 日本経済の動向 =

- ・実質GDP成長率は年0.5～1%程度の低成長を維持、景気後退は回避されるものの、持続的な高成長には至らない見通し。
- ・賃上げと内需が下支えする一方で、人口減少・生産性停滞・外需不透明感がリスクとなる可能性がある。名目賃金は高めの伸びが定着しつつあるが、2026年は物価上昇率が鈍化し、実質賃金がプラス定着する可能性が高く、これにより、個人消費は「横ばい～緩やかな増加」が見込まれている。ただし、**中近東情勢の緊迫化に代表される地政学リスクにより先行き不透明**
- ・設備投資は、省人化・自動化DX・AI関連・脱炭素対応等が中心、一方、国内市場の成長期待の低さから、成長投資は慎重姿勢も残る

### = 商用車（架装）市場 =

- ・架装車両市場全体の方向感「横ばい～緩やかな回復」基調
- ・中東情勢の緊迫化による、**塗料やその他原油製品の供給不足や価格高騰は、車両生産に大きな影響を与えており、先行き不透明**
- ・原材料価格（鋼材・アルミ）価格変動、人手不足・事業承継への対応、賃金上昇

# 1-1. 2026年度事業計画 概要

## <2026年度事業計画ポイント>

- ・2025年度同様、重点6項目を取組み
  - 1) **カーボンニュートラルへの取組み**  
各委員会、部会、支部が主導・推進
  - 2) **安全への取組み**  
法規情報収集とWG活動
  - 3) **環境への取組み**  
環境ラベル取得推進  
産業廃棄物処分量の車工会目標達成
  - 4) **中小企業支援活動**  
外国人育成就労制度  
法令順守
  - 5) **活性化活動**  
会員に役立つHP  
車体ニュースデジタル化検討
  - 6) **ガバナンス強化・高付加価値化**  
ガバナンス/コンプライアンス強化  
高付加価値業務への移行

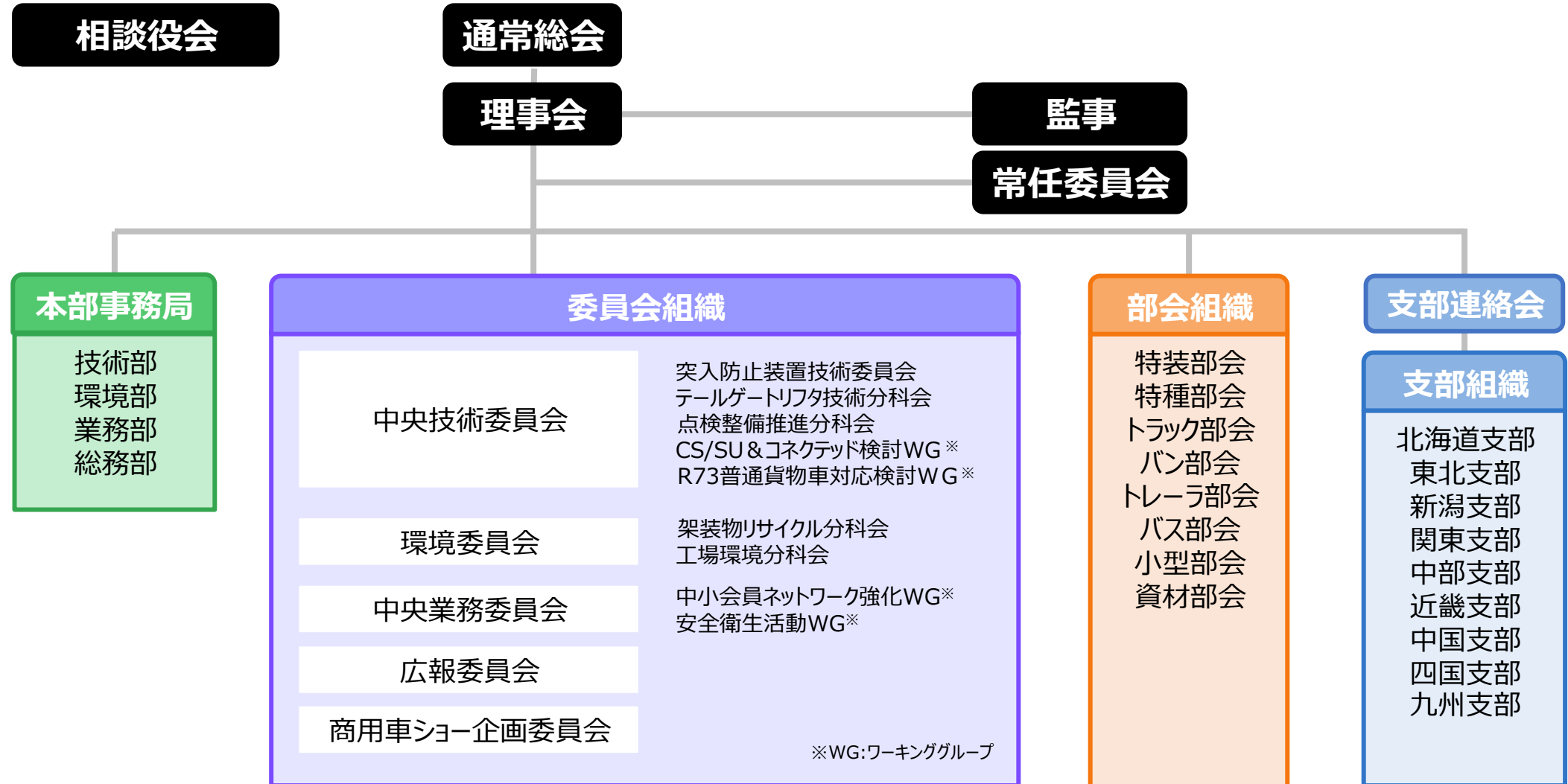
# 1-2. 2026年度 年間本部関連会議／行事日程表

年	2026									2027				
開催月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5
通常総会		22日 (金)												21日 (金)
理事会		8日 (金) 286回		23日 (木) 287回			16日 (金) 288回			21日 (木) 289回		18日 (木) 290回		7日 (金) 291回
常任委員会		8日 (金)		23日 (木)			16日 (金)			21日 (木)		18日 (木)		7日 (金)
相談役会					21日 (金)									
中央技術委員会				9日 (木)			20日 (火)		16日 (水)			5日 (金)		
環境委員会				10日 (金)		29日 (火)			11日 (金)			4日 (木)		
中央業務委員会				8日 (水)			21日 (水)		15日 (火)			3日 (水)		
広報委員会			4日 (木)		28日 (金)			25日 (水)			26日 (金)			
秋季会員大会							16日 (金)							
賀詞交歓会										5日 (火)				

# 1. 2026年度事業計画

## 1-3. 2026年度組織および委員会委員一覧

## (1) 一般社団法人日本自動車車体工業会組織図



## (2) 委員会委員一覧

### <中央技術委員会>

\*は新任

委員会 役職	氏名	所属		会社名	役職
		部会	役職		
委員長	富山 隆	—	—	日産車体(株)	代表取締役社長
副委員長	* 三瓶 宣人	特装	委員長	新明和工業(株)	特装車事業部品質保証部 部長
	新井 佳和	特装	副委員長	極東開発工業(株)	技術本部営業技術部 部長
委員	常盤 博之	特種	委員長	東京特殊車体(株)	経営戦略室 室長
	安部 康一	特種	副委員長	日産モータースポーツ& カスタマイズ(株)	カスタマイズ技術管理部 スペシャリスト
	大橋 剛	トラック	委員長	(株)浜名ワークス	技術部トラック設計課平ボデー設計係 係長
	* 山中 紳吾	トラック	副委員長	本所自動車工業(株)	技術課
	* 中川 信之	バン	委員長	(株)矢野特殊自動車	バン車事業部技術部本部 本部長
	渡邊 篤史	バン	副委員長	(株)パプコ	製品開発本部 設計1部標準ボデー設計グループ マネージャー
	森 孝夫	トレーラ	委員長	日本トレクス(株)	設計部 担当部長 兼 申請業務課長
	中津留 徹也	トレーラ	副委員長	東邦車輛(株)	生産統括部 設計部 トレーラ設計課 課長
	古川 義治	バス	委員長	三菱ふそうバス製造(株)	バス技術部 部長
	苅和 直人	小型	委員長	トヨタ車体(株)	L C 事業部 参事
	岡本 斉	突入防止	委員長	新明和工業(株)	特装車事業部品質保証部
	城戸 良太	T G L	分科会長	新明和工業(株)	寒川工場 設計部 ゲートグループ長
	* 水谷文昭	T G L	副分科会長	極東開発工業(株)	名古屋工場 パワーゲートセンター 設計課 開発グループ 係長
	事務局	上坂 弘一	—	—	車体工業会

## (2) 委員会委員一覧

### <環境委員会>

委員会役職	氏名	所属部会	会社名	役職
委員長	石川 洋之	—	トヨタ自動車東日本(株)	代表取締役社長
架装物 分科会 リサイクル	新井 佳和	特装	極東開発工業(株)	技術本部 営業技術部 部長
	小澤 正広	バン	日本フルハーフ(株)	監査・環境保全室 室長
	井上 政嗣	特装	新明和工業(株)	特装車事業部 開発部
	伊藤 公展	特種	京成自動車工業(株)	管理部 品質保証課 課長
	藤島 太毅	トラック	(株)東洋ボデー	管理部 管理課 課長
	中川 信之	バン	(株)矢野特殊自動車	バン車事業部 技術本部 本部長
	白澤 敦男	特装	新明和工業(株)	特装車事業部 佐野工場 設計部 タンクグループ
工場環境 分科会	梶ヶ谷 正美	小型	トヨタ自動車東日本(株)	P E・環境部 環境G グループ長
	岸 正道	トレーラ	東邦車輛(株)	生産技術部 部長
	永井 淳	特装	新明和工業(株)	特装車事業部 生産技術部 生産技術課 課長
	鳥居 達也	特装	(株)豊田自動織機	環境マネジメント部 マネジメント企画室 室長
	加藤 俊彦	特種	(株)トノックス	技術部 部長
	細谷 康造	トラック	本所自動車工業(株)	取締役
	河内 康英	バン	日本トレクス(株)	生産本部 生産技術部 部長
	赤松 伸一	バス	ジェイ・バス(株)	宇都宮工場 生産技術部 環境計画G グループリーダー
永川 浩之	小型	トヨタ自動車九州(株)	環境プラント部 CN・環境室 室長	
事務局	兵藤 一博	—	車体工業会	環境部長

## (2) 委員会委員一覧

### <中央業務委員会>

\* は新任

委員会 役職	氏名	所属		会社名	役職
		部会	役職		
委員長	矢野 彰一	—	—	(株)矢野特殊自動車	代表取締役社長
副委員長	山田 和典	トラック	委員長	山田車体工業(株)	代表取締役社長
委員	西村 誠	特装	委員長	新明和工業(株)	営業本部 直販営業部 部長
	宮野 圭司	特装	副委員長	極東開発工業(株)	営業本部 中部支店長
	眞田 淳二	特装	副委員長	(株)タダノ	国内営業企画第二部 部長
	神尾 将光	特種	委員長	(株)ケイエムオー	代表取締役
	堀田 和宏	特種	副委員長	札幌ボデー工業(株)	代表取締役社長
	殿内 崇生	特種	副委員長	(株)トノックス	代表取締役社長
	加藤 俊宏	トラック	副委員長	(株)相模ボデー	代表取締役社長
	細谷 康造	トラック	副委員長	本所自動車工業(株)	取締役 営業部
	最所 英巳	バン	委員長	日本フルハーフ(株)	営業・CS企画部 部長
	* 川原 陽介	バン	副委員長	(株)矢野特殊自動車	バン車事業部 中央営業部 部長
	* 原 康雄	バン	副委員長	(株)北村製作所	取締役 車両事業本部 本部長
	村中 洋	トレーラ	委員長	東邦車輛(株)	営業本部 副本部長 兼 業務部長
	酒巻 徹	トレーラ	副委員長	日本フルハーフ(株)	トレーラビジネスユニット担当部長
	梶ヶ谷 剛	トレーラ	副委員長	日本トレクス(株)	マーケティング部 部長
事務局	岩満 昭明	—	—	車体工業会	業務部長
	鶴見 孝之	—	—	車体工業会	業務部 課長補佐

## (2) 委員会委員一覧 ＜広報委員会＞

委員会役職	氏名	所属部会	会社名	役職
委員長	石川 洋之	—	トヨタ自動車東日本(株)	代表取締役社長
委員	源本 正人	特装	極東開発工業(株)	特装事業部 推進部 営業推進課長
	河野 元通	特種	(株)河野ボデー製作所	専務取締役
	田邊 仁也	トラック	山田車体工業(株)	企画室 主査
	峰房 里子	バン	日本フルハーフ(株)	総務部 広報G グループリーダー
	吉田 岳史	トレーラ	日本トレクス(株)	経営企画部 広報CSR課
	塚本 智	バス	ジェイ・バス(株)	総務部 企画・渉外グループリーダー
	名和 武彦	小型	岐阜車体工業(株)	人事・総務部 総務室 主任
	古川 芳	資材	スリーエム ジャパン(株)	コマーシャルブランディング&トランスポートेशन営業本部
	浅井 大輔	資材	(株)アサイマーキングシステム	代表取締役社長
事務局	森田 敦次	—	車体工業会	事業統括部長
	堂山 さおり	—	車体工業会	

## (2) 委員会委員一覧

### <商用車ショー企画委員会>

委員会役職	氏名	所属部会	会社名	役職
委員長	富山 隆	—	日産車体(株)	代表取締役社長
副委員長	能條 幹也	トレーラ	(株)花見台自動車	代表取締役
委員	光岡 拓	特装	極東開発工業(株)	経営企画部
	芳野 琢磨	特装	新明和工業(株)	特装車事業部 営業本部 営業企画部 チームリーダー
	小澤 清二	特装	(株)タダノ	ソリューション推進部 プロモーションG・担当部長
	峯房 里子	バン	日本フルハーフ(株)	総務部 広報G グループリーダー
事務局	小森 啓行	—	車体工業会	専務理事
	松本 東始	—	車体工業会	事務局長 兼 総務部長
	森田 敦次	—	車体工業会	事業統括部長

## (2) 委員会委員一覧 ＜支部連絡会＞

委員会役職	氏名	所属支部	会社名	役職
担当理事	矢野 彰一	九州支部	(株)矢野特殊自動車	代表取締役社長
議長	鈴木 勇人	東北支部	仙台鈴木自動車工業(株)	代表取締役
副議長	星 浩由	関東支部	(株)ヤシカ車体	代表取締役
委員	村松 寛明	北海道支部	北海道車体(株)	代表取締役社長
	丸山 正範	新潟支部	(株)丸山車体製作所	代表取締役社長
	安藤 章宏	中部支部	(株)東海特装車	代表取締役社長
	須河 進一	近畿支部	須河車体(株)	代表取締役社長
	上野 孝弘	中国支部	フェニックス工業(株)	代表取締役社長
	北村 和則	四国支部	兼松エンジニアリング株	代表取締役専務
事務局	小森 啓行	—	車体工業会	専務理事
	松本 東始	—	車体工業会	事務局長 兼 総務部長
	内藤 幸子	—	車体工業会	総務部 課長

## (2) 委員会委員一覧

### <中央技術委員会 突入防止装置技術委員会>

\*は新任

委員会役職	氏名	所属部会	会社名	役職
委員長	岡本 齊	特装	新明和工業(株)	特装車事業部 品質保証部
委員	草刈 純一	特装	極東開発工業(株)	技術本部営業技術部 担当課長
	武澤 真幸	特種	(株)野口自動車	設計部 部長
	阿部 健太郎	トラック	小平産業(株)	技術部 係長
	宮村 一男	バン	北村製作所(株)	第一技術部 シニアアドバイザー
	* 堀金 新悟	トレーラ	(株)トヨタトレーラー	設計・開発グループ
	城戸 良太	T G L	新明和工業(株)	寒川工場 設計部ゲートG グループ長
	頼定 修	T G L	(株)岡山熔接所	代表取締役
事務局	上坂 弘一	—	車体工業会	技術部長

## (2) 委員会委員一覧

### <中央技術委員会 テールゲートリフター技術委員会>

\*は新任

委員会役職	氏名	所属部会	会社名	役職
分科会長	城戸 良太	特装	新明和工業(株)	寒川工場 設計部 ゲートG グループ長
副分科会長	水谷 文昭	特装	極東開発工業(株)	名古屋工場 パワーゲートセンター設計課 係長
委員	鈴木 伸彦	特装	日本リフト(株)	常務取締役
	* 吉田 直樹	特装	ヒアブ・ジャパン(株)	サービス部 テクニカル
	山下 俊彦	特種	坪井特殊車体(株)	設計
	勝見 貴之	バン	(株)北村製作所	第一技術部 課長
	* 森川 亮	バン	トヨタ車体(株)	商用事業部 商用企画室 主任
	内田 修一	バン	トヨタ車体(株)	商用事業部 商用企画室 主担当員
	山本 秀彦	バン	(株)東海特装車	技術部 主査
	初鹿野 浩一	バン	日本フルハーフ(株)	開発第一部 バン開発グループ
事務局	上坂 弘一	—	車体工業会	技術部長

## (2) 委員会委員一覧

### <中央技術委員会 点検整備推進分科会>

\*は新任

委員会役職	氏名	所属部会	会社名	役職
分科会長	* 三瓶 宣人	特装	新明和工業(株)	特装車事業部品質保証部 部長
副分科会長			不在	
委員	嶋田 弘明	特装	新明和工業(株)	サービス本部長兼サービス部長
	安田 俊一	特装	極東開発工業(株)	サービス本部 サービス推進部
	西村 誠	特装	新明和工業(株)	営業本部 直販営業部 部長
	宮野 圭司	特装	極東開発工業(株)	営業本部 首都圏支店長
	山田 和典	トラック	山田車体工業(株)	代表取締役社長
	大橋 剛	トラック	(株)浜名ワークス	技術部トラック設計課平ボデー設計係 係長
	忠村 憲明	バン	(株)トランテックス	部品・サービス部 部長
	米口 孝雄	バン	(株)トランテックス	品質保証部 副部長
	福島 稔	バン	(株)パプコ	カスタマーサービス部 部長
	松尾 文徳	バン	日本トレクス(株)	サービス本部サービス部 部長
	金子 保裕	トレーラ	日本フルハーフ(株)	品質保証部 担当部長
	城戸 良太	TGL技術分科会	新明和工業(株)	寒川工場 設計部 ゲートグループ長
	初鹿野 浩一	TGL技術分科会	日本フルハーフ(株)	開発第一部開発グループ
事務局	上坂 弘一	—	車体工業会	技術部長

# 1-3. 2026年度組織 および 委員会委員一覧

## (2) 委員会委員一覧

### <中央技術委員会 CSSU & コネクテッドWG>

委員会役職	氏名	所属部会	会社名	役職
座長	松本 典浩	特装	極東開発工業(株)	技術本部 技術管理課 シニアエキスパート
副座長	速水 健一	特装	新明和工業(株)	特装車事業部開発部 電気グループ長
委員	新井 佳和	特装	極東開発工業(株)	技術本部営業技術部 部長
	岡本 斉	特装	新明和工業(株)	特装車事業部 品質保証部
	加賀田 武志	特装	(株)アイチコーポレーション	研究開発部要素設計課 ｽﾊﾟｼﾞﾘｽﾄ
	北岡 健史	特装	(株)アイチコーポレーション	商品開発部開発管理課 ｽﾊﾟｼﾞﾘｽﾄ
	元野 等	特装	(株)モリタ	商品開発部 課長
	岩波 茂	特装	カヤバ(株)	熊谷工場技術部 係長
	岸 秀次郎	特装	(株)テイセンテクノ	取締役設計部長
	竹森 進二	特装	日本機械工業(株)	設計部システム設計課 次長
	宮下 知也	特装	(株)タダノ	品質安全総務部 ホモロゲーション グループ マネージャー
	安倍 正記	特装	(株)タダノ	商品開発第二部 第1ユニット
	壺内 達弘	特装	(株)加藤製作所	設計第3部課長
	塚田 慎也	特装	(株)モリタエコノス	開発本部開発部開発課 課長
	有馬 寛	特種	東京特殊車体(株)	経営戦略室 課長兼設計部 課長
	和田 明	特種	トヨタカスタマイジング & ティエムソリューションズ	名古屋技術部 部長
	福田 亮	特種	トヨタカスタマイジング & ティエムソリューションズ	名古屋技術部電子開発室第3電子G グループ長
	近藤 司	特種	トヨタカスタマイジング & ティエムソリューションズ	開発統括部開発統括室設計監理G主任
	中屋 宣也	特種	(株)オートワークス京都	設計部 部長
	竹本 澄	特種	(株)東海特装車	室長
* 安達 裕樹	特種	(株)東海特装車	担当員	

\* は新任

委員会役職	氏名	所属部会	会社名	役職
	三浦 洋介	特種	日産モーターズ・ツ&カスタマイズ(株)	カスタマイズ技術管理グループ
	武澤 真幸	特種	(株)野口自動車	設計部 部長
	石井 亨	トラック	(株)浜名ワークス	技術部 主任
	菱河 聡	トラック	(株)東洋ボデー	設計開発課 係長
	新町 拓正	バン	東プレ(株)	技術部装置グループ 主管
	小林 義孝	バン	トヨタ車体(株)	商用事業部 商用企画室 G長
	平工 泰央	バン	トヨタ車体(株)	商用事業部 商用企画室 担当員
	中津留 徹也	トレーラ	東邦車輛(株)	生産統括部 設計部トレーラ設計課課長
事務局	渡辺 英彦	トレーラ	日本フルハーフ(株)	開発第二部製品グループリーダー
	上坂 弘一	—	車体工業会	技術部長

# 1-3. 2026年度組織 および 委員会委員一覧

## (2) 委員会委員一覧

＜中央技術委員会 R73普通貨物車対応検討WG＞

\*は新任

委員会役職	氏名	所属部会	会社名	役職
委員長	* 岡本 斉	特装	新明和工業(株)	品質保証部
委員	* 新井 佳和	特装	極東開発工業(株)	技術本部 営業技術部部長
	* 松岡 誠	特装	兼松エンジニアリング(株)	技術開発部 マネージャー
	* 池上 明伸	特装	兼松エンジニアリング(株)	生産設計部 リーダー
	* 平野 裕貴	特装	豊和工業(株)	特装車両事業部設計課 課長
	* 壺内 達弘	特装	(株)加藤製作所	設計第三部課長
	* 村山 浩貴	特装	(株)加藤製作所	設計第三部係長
	* 中津留 徹也	トレーラ	東邦車輛(株)	生産統括部設計部トレーラ設計課課長
	* 須藤 純司	バン	日本トレクス(株)	設計部 特装設計課 専任技師
	* 前田 健二	バン	(株)東海特装車	技術部 設計室 部長
	* 岸本 友介	トラック	NX商事(株)	整備製作部 東京製作所 設計第一課
事務局	上坂 弘一	—	車体工業会	技術部長

# 1-3. 2026年度組織 および 委員会委員一覧

## (2) 委員会委員一覧

### <中央業務委員会 中小会員ネットワーク強化WG>

委員会役職	氏名	所属部会	会社名	役職
リーダー	矢野 彰一	バン	(株)矢野特殊自動車	代表取締役社長
サブリーダー	山田 和典	トラック	山田車体工業(株)	代表取締役社長
委員	國武 幸弘	特種	(株)イズミ車体製作所	代表取締役社長
	河野 元通	特種	(株)河野ボデー製作所	専務取締役
	堀田 和宏	特種	札幌ボデー工業(株)	代表取締役社長
	星 浩由	特種	(株)ヤシカ車体	代表取締役
	森 孝義	特種	中京車体工業(株)	代表取締役社長
	加藤 俊宏	トラック	(株)相模ボデー	代表取締役社長
	落合 守征	トラック	司工業(株)	代表取締役
	近藤 匠	トラック	名古屋ボデー(株)	代表取締役社長
	藤田 健一郎	トラック	フジタ自動車工業(株)	代表取締役
	木俣 博光	バン	(株)永光自動車工業	代表取締役社長
	鈴木 勇人	バン	仙台鈴木自動車工業(株)	代表取締役
オブザーバー	田村 元	トラック/バン/トレーラ	(株)浜名ワークス	代表取締役社長
事務局	岩満 昭明	—		業務部長

## (2) 委員会委員一覧

### <中央業務委員会 安全衛生活動WG>

\*は新任

委員会役職	氏名	所属部会	会社名	役職
リーダー	立川 浩二	小型	日産車体(株)	安全環境部 部長
委員	長 豊	特装	新明和工業(株)	生産統括担当 専任部長
	田邊 周作	特装	新明和工業(株)	製造部 部長
	神尾 将光	特種	(株)ケイエムオー	代表取締役社長
	大石 和久	トラック	(株)浜名ワークス	製造部 部長
	渡邊 幸仙	バン	日本フルハーフ(株)	厚木工場 安全・健康管理G グループリーダー
	* 野沢 誠	バス	ジェイ・バス(株)	総務部宇都宮安全G グループリーダー
事務局	鶴見 孝之	—		業務部 課長補佐

## (3) 関連団体委員一覧

\*は新任

団体名/内容	委員	所属部会等	会社名	役職
経済産業省				
バイオエタノール採用拡大TF*  ※ タスクフォース	* 中田 範明	特装	新明和工業(株)	佐野工場設計部タンクグループ グループ長
	倉沢 俊彦	特装	東邦車輛(株)	営業本部 直販部 特装販売促進課 担当部長
	上坂 弘一	—	車体工業会	技術部長
国土交通省				
車両安全対策検討会	小森 啓行	—	車体工業会	専務理事
完成検査の 改善・合理化検討会	杉山 享	特装	極東開発工業(株)	生産本部 横浜工場 品質管理課長
	冷水 洋文	特装	新明和工業(株)	寒川工場型式指定検査グループ グループ長
	上坂 弘一	—	車体工業会	技術部長
検査整備制度調査部会	上坂 弘一	—	車体工業会	技術部長
一般社団法人日本経済団体連合会				
審議員	富山 隆	会長	日産車体(株)	代表取締役社長
モビリティ委員会	富山 隆	会長	日産車体(株)	代表取締役社長
一般社団法人日本自動車会議所				
運営委員会	小森 啓行	—	車体工業会	専務理事
道路・交通委員会	小森 啓行	—	車体工業会	専務理事
税制委員会	小森 啓行	—	車体工業会	専務理事
経済・産業委員会	小森 啓行	—	車体工業会	専務理事
会館運営委員会	小森 啓行	—	車体工業会	専務理事
会館総合部会	松本 東始	—	車体工業会	事務局長 兼 総務部長

# 1-3. 2026年度組織 および 委員会委員一覧

## (3) 関連団体委員一覧

団体名/内容	委員	所属部会等	会社名	役職
一般社団法人日本自動車工業会				
大型車部会	上坂 弘一	—	車体工業会	技術部長
トヨタ分科会	中津留 徹也	トレーラ	東邦車輛(株)	生産統括部 設計部 トレーラ設計課 課長
公益社団法人自動車技術会				
理事	松本 東始	—	車体工業会	事務局長 兼 総務部長
学生フォーミュラ会議	松本 東始	—	車体工業会	事務局長 兼 総務部長 (自技会理事)
規格会議	松本 東始	—	車体工業会	事務局長 兼 総務部長 (自技会理事)
モビリティガバナンス 社会実装検討委員会	小森 啓行	—	車体工業会	専務理事
自動車標準化委員会・ JIS/JASO規格審議委員会	小森 啓行	—	車体工業会	専務理事
安全部会	森田 敦次	—	車体工業会	事業統括部長
ビークルダイナミクス部会	三木 邦彦	トレーラ	東邦車輛(株)	技術統括部 開発部 開発グループ 主査
ブレーキ性能分科会	永田 恭敬	トレーラ	東邦車輛(株)	技術統括部 開発部 開発グループ グループ長
車体部会	伊藤 誠也	特装	新明和工業(株)	品質保証部 担当課長
	森田 敦次	—	車体工業会	事業統括部長
大型車連結装置分科会	渡辺 英彦	トレーラ	日本フルハーフ(株)	開発第二部 製品グループリーダー
環境部会				
天然ガス自動車分科会	國井 一人	小型	日産車体(株)	シャシ・要素設計部 主担
LPガス自動車分科会	國井 一人	小型	日産車体(株)	シャシ・要素設計部 主担
車室内空気質分科会	富沢 秀之	資材	ロンシール工業(株)	研究開発部 産資・国際グループリーダー

# 1-3. 2026年度組織 および 委員会委員一覧

## (3) 関連団体委員一覧

団体名/内容	委員	所属部会等	会社名	役職
公益財団法人日本自動車輸送技術協会 自動車基準認証国際化研究センター (JASIC)				
国際化企画委員会	小森 啓行	—	車体工業会	専務理事
WP29対応部会	上坂 弘一	—	車体工業会	技術部長
一般安全分科会	岡本 斉	特装	新明和工業(株)	特装車事業部品質保証部
	山倉 浩介	バス	ジェイ・バス(株)	宇都宮製品企画・開発設計部 構体グループ グループリーダー
	黒川 知範	トレーラ	極東開発工業(株)	名古屋工場 設計課 担当課長
R73-02国内採用WG	岡本 斉	特装	新明和工業(株)	特装車事業部品質保証部
	常盤 博之	特種	東京特殊車体(株)	経営戦略室 次長
	宮崎 拓	特種	(株)ナッツ	開発部 部長
	須藤 純司	バン	日本トレクス(株)	設計部 特装設計課 専任技師
	岸本 友介	トラック	NX商事(株)	整備製作部東京製作所設計設計第一課
	中津留 徹也	トレーラ	東邦車輛(株)	生産統括部 設計部 トレーラ設計課
	黒川 知範	トレーラ	極東開発工業(株)	名古屋工場設計課 担当課長
	山中 将史	資材	信和自動車工業(株)	茨城支店
	上坂 弘一	—	車体工業会	技術部長
衝撃吸収分科会	松森 洋	バス	ジェイ・バス(株)	小松受注設計部部長
	上坂 弘一	—	車体工業会	技術部長
STCBC国内対応WG	松森 洋	バス	ジェイ・バス(株)	小松受注設計部部長
	篠田 英明	資材	天龍工業(株)	技術部 部長
	上坂 弘一	—	車体工業会	技術部長

# 1-3. 2026年度組織 および 委員会委員一覧

## (3) 関連団体委員一覧

団体名/内容	委員	所属部会等	会社名	役職
公益財団法人日本自動車輸送技術協会 自動車基準認証国際化研究センター (JASIC)				
WP29対応部会				
自動運転分科会	高橋 義貴	トレーラ	東邦車輛(株)	技術統括部 開発部 開発グループ
大型車AEBS国内対応WG	上坂 弘一	—	車体工業会	技術部長
灯火器分科会	新井 佳和	特装	極東開発工業(株)	技術本部 営業技術部部长
	鈴木 保彦	特装	新明和工業(株)	品質保証部 課長
	森 孝夫	トレーラ	日本トレクス(株)	設計部 担当部長 兼 申請業務課長
	須藤 聡一	資材	スリーエム ジャパン(株)	コーポラルファンデーション&トランスポートソリューションズ ロボットプラットフォーム技術部
	上坂 弘一	—	車体工業会	技術部長
騒音・タイヤ分科会				
TPMSTI対応	中津留 徹也	トレーラ	東邦車輛(株)	生産統括部 設計部 トレーラ設計課 課長
	岩満 昭明	—	車体工業会	業務部長 (トレーラ部会担当)
3点式ハル義務付 国内対応WG	松森 洋	バス	ジェイ・バス(株)	小松受注設計部部長
	農田 智史	バス	ジェイ・バス(株)	小松製品企画・開発設計部 艤装グループ 主任
	篠田 英明	資材	天龍工業(株)	技術部 部長
	岩満 昭明	—	車体工業会	業務部長 (バス部会担当)
FVA国内対応WG (Field of Vision Assistants)	上坂 弘一	—	車体工業会	技術部長

# 1-3. 2026年度組織 および 委員会委員一覧

## (3) 関連団体委員一覧

団体名/内容	委員	所属部会等	会社名	役職
一般財団法人日本自動車研究所 認証センター (JARI)				
運営委員	小森 啓行	—	車体工業会	専務理事
環境審査判定委員会	小森 啓行	—	車体工業会	専務理事
品質審査判定委員会	小森 啓行	—	車体工業会	専務理事
道路交通安全審査判定委員会	小森 啓行	—	車体工業会	専務理事
労働安全衛生委員会	小森 啓行	—	車体工業会	専務理事
陸上貨物運送事業労働災害防止協会 (陸災防)				
逸脱防止部材実証調査委員会	城戸 良太	特装	新明和工業(株)	寒川工場 設計部ゲートG グループ長
一般社団法人日本自動車タイヤ協会				
タイヤ企画委員会	岩満 昭明	—	車体工業会	業務部長 (トレーラ部会担当)
日本鉄鋼連盟標準化センター				
	新井 佳和	特装	極東開発工業(株)	技術本部営業技術部部長
	小森 啓行	—	車体工業会	専務理事
一般社団法人日本物流団体連合会				
物流標準化懇話会	小森 啓行	—	車体工業会	専務理事
一般財団法人日本ウェザリングテストセンター				
評議員	小森 啓行	—	車体工業会	専務理事
公益財団法人日本自動車教育振興財団				
評議員	小森 啓行	—	車体工業会	専務理事
(株)日本能率協会総合研究所				
車両安全対策検討会	小森 啓行	—	車体工業会	専務理事
中央労働災害防止協会				
	富山 隆	会長	日産車体(株)	代表取締役社長

## 2. 2026年度委員会事業計画

2. 委員会事業計画

2026年度事業計画（中央技術委員会） 委員長：富山理事 事務局：上坂

◎:大幅過達(120%以上) ○:計画通り(90%以上) △:若干未達(60%以上) ×:未達(60%以下) ー:評価対象外

項目・ねらい	実施項目	担当	日程 2026年度												評価	実績及び課題
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
中央 技術 委員 会	中央技術委員会開催予定：4回/年															
	1. 法規関係の対応 <ねらい> 車両法規改正への対応は、技術委員会の最重要項目であり、実施していく。多種多様な特装架装については、一律の法文通りでは運用できないため、素案段階での意見反映や検査側と細部を調整する。技術的規制項目で業界や社会的メリットに繋がるものの緩和要望を進めていく。また、決定後の会員への周知等を十分実施し円滑な適用を徹底する。	(1)車両法規改正への意見反映と円滑な対応 ①法規改正案に対する意見反映 ②協定規則採用動向調査及び周知  (2)技術的困りごとの洗出しと会員支援等 ①CS/SU&コネクテッド検討WG活動の推進 ・架装工事ガイドライン合同検討会 ・マルチステージに関する情報収集  ② R73（サイドバンパー）	長田副委員長 新井副委員長・各委員													
	2. 基準化/標準化推進 <ねらい> 車体関係規格は十分とはいえないため、上位規格への策定に参画すると共にJABIA規格の充実を図る。  また、横断的課題が部会単位では動きづらいため、法規対応、自主的共同研究等の部会共通項目を中央技術委員会で対応していく。	(1)JABIA規格等の充実と推進 ・JABIA規格改正〇件、標準化等〇件  (2)・ISO、JIS、JASO規格作成への参画 ・ISO-TC297対応  ・ISO-TC195対応  (3)各部会の共通調査項目の充実と推進 (4)その他														
3. 会員の技術力向上・要望への対応 <ねらい> 当会関係の不具合情報から得た技術情報を共有化し、全体レベルを向上させる。また、発表会を開催し部会や各社の技術的情報交換を活発にしていく。加えて、会員からの業務関係に関する改善要望へ対応を図る。	(1)重大不具合の再発防止策共有活動 ・リコール,改善措置,サービスキャンペーン  (2)技術発表会の開催(3月開催)															
4. 点検整備推進分科会 ★ <ねらい> 使用上のトラブルを未然に防止するための適切な保守点検の啓発と、架装物の安全点検制度の普及を図る。	(1)架装物の安全点検制度の普及促進 ・制度活用のすそ野を広げるための検討	委員														
5. 突入防止装置技術委員会 ★ <ねらい> JABIAリベット制度の適正運用のための指導及び改正提案への対応を行う。	(1)R58-03改定版の解説書の内容の確認 およびJABIA規格化（2カ年計画）	委員														
6. テールゲートリフト技術分科会 ★ <ねらい> テールゲートリフト車特有の法規対応を検討していく。	(1)各種法規改正による問題点抽出と対応検討 (2)TGLの安全性向上に関する取組み (3)TGLの突入防止装置およびみなしバンパ解説書の見直し	委員														

2. 委員会事業計画

2026年度事業計画 (環境委員会)

委員長：石川理事 事務局：兵藤

○：大幅超過(120%以上) ○：ほぼ計画通り(90%以上) △：若干未達(60%以上) ×：未達(60%以下) -：評価対象外

項目・ねらい	実施項目	担当	日程 2026年度												評価	実績 及び 課題		
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
環境委員会	環境委員会開催予定：4回/年																	
環境委員	1. リサイクル設計の推進 (ねらい) ・商用車架装物リサイクル自主取組みの適正運用に重要な易解体性を向上 ・環境にやさしい車体作り促進のため環境基準適合ラベル(ホワイト)、及び新環境基準適合ラベル(ゴールド)を世の中に周知	(1)環境ラベル(ホワイト、ゴールド)を社会へPR ①新聞、雑誌への広告掲載(閲覧者の多い媒体を選定) (2)環境ラベル(ホワイト、ゴールド)の取得推進 ①環境ラベル取得に向けた現地訪問(取得奨励会員を選定して新規取得を支援) ②環境ラベル取得申請の審査 (3)リサイクル設計の推進 ①易解体設計事例の収集(現地確認含む) ②資源再生部品と環境にやさしい部品、材料の調査、紹介 ③再生処理困難材(FRP等)の調査 ④解体作業見学の課題把握と対策検討 ⑤ジャン、架装工場の現地確認(自工会・車工会)※JTP・JAERA含む																
	2. 協力事業者制度の推進 (ねらい) ・適正な架装物のリサイクル、処理を実施する事業者を紹介	(1)協力事業者制度の推進(自工会と連携) ①登録済の協力事業者(解体業者)の調査(行政処分等) ②登録済の協力事業者(解体業者)の作業内容確認																
	3. 環境負荷物質フリーの展開 (ねらい) ・環境負荷物質削減を推進	(1)環境負荷物質フリーの展開 ①フリー部品のHP掲載内容の見直し 目標値：2002年度使用量(60g/台)を2006年度に半減(2005年度の達成済) 水銀：2005年1月以降使用禁止(照明装置を除く) 六価クロム：2008年1月以降使用禁止 カドミウム：2007年1月以降使用禁止																
環境委員	4. 地球温暖化対策の取組み (ねらい) ・経団連の地球温暖化対策の一環としてCO2排出量削減目標を達成 目標：'30年 排出量78万t以下('13年比△38%) ・2050年カーボンニュートラルへの挑戦	(1)目標に対する状況確認 【KPI：年間 非量産△1.0%以上、(電力係数以外) 委託生産 △2.0%以上】 ①全会員のCO2排出量を把握 ②自工会と連携し、代表39社のCO2排出量を把握 ※経団連FU対応 【KPI：売上カバー率95%以上】 (2)会員への情報発信 ①省エネ改善事例の収集、展開 ②改善事例の作成、展開(事例WG) 【KPI：1件/年以上】 ③勉強会セミナー追加 (3)会員の実態把握と支援 ①CO2排出量の増減分析(分析WG) 【KPI：前年度との差異分析】 ②現地訪問による支援(支援WG) 【KPI：現地訪問支援4件/年以上】 (4)部会・支部との連携 ①現地訪問時の意見交換 【KPI：現地訪問時の巻き込み4件/年以上】 (5)Scope3の準備と検討 ①LCA、CFPの推進方法の収集、展開 【KPI：情報展開1件/年以上】																
	5. 産業廃棄物減量化への取組み (ねらい) ・産業最終処分量を削減 目標：'25年度2,940t以下('00年度比△89%) ・プラスチック資源循環の推進	(1)産業最終処分量の調査 ①全会員の産業廃棄物を把握 ②廃棄物低減のための困り事・課題を調査、解決(木製パレット回収方法、削減事例の展開他) ③代表66社の最終処分量の把握と報告 ※経団連FU対応 (2)処分量削減の事例収集と展開																
	6. VOC排出抑制の取組み (ねらい) ・VOC排出量の削減 目標：51.5g/m以下('00年度比△50%)	(1)VOC排出量の調査 ①排出量の調査と原単位の算出 (2)改善事例の収集と展開																
7. 環境情報共有による会員支援等 (ねらい) ・環境情報・対応技術を提供・共有	(1)環境関連情報の共有 ①車工会HP、車体NEWSへの掲載(含：法規等官庁情報) ②環境対応事例発表会	事務局																

2. 委員会事業計画

2026年度事業計画（中央業務委員会） 委員長：矢野理事 事務局：岩満、★鶴見

○:計画、●:実施済

◎:大幅過達(120%以上) ○:ほぼ計画通り(90%以上) △:若干未達(60%以上) ×:未達(60%以下) -:評価対象外

項目・ねらい	実施項目	担当	日程 2026年度												評価	実績 及び 課題	
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
	中央業務委員会開催予定：4回/年					○				○		○			○		第1回(7/8予定)、第2回(10/21予定)、第3回(12/15予定)、第4回(3/3予定)
中央業務委員会	1. コンプライアンス優先経営徹底活動  <ねらい> 車工会本部活動及び 会員会社でのコンプライアンス 意識醸成やリスクマネジメント 体制整備を図る。 中小企業会員の意識も 醸成されつつある中で、 更なる意識向上、	(1) コンプライアンス優先経営の徹底 ① 独禁法/取適法遵守を促進する社内風土作りサポート ・独禁法/取適法に関する会員への啓蒙、支援等 ・外部セミナー(経産省・公取委等)の会員案内 ② 不正な二次架装根絶業界内定着活動 ・「不正改造車を排除する運動」対応 (2) リスクマネジメントへの対応支援 (BCP) ・BCPに関する会員への情報提供	中央業務委員 事務局	啓蒙策・支援策													(1) ①
	2. 中小会員支援、困りごと等 1) 中小企業経営支援 <ねらい> CN・SDGsへの適正な対応と 今後想定される景気後退に伴う 経営不振に備えた、中小会員 支援策の論議を充実させる。 2) 中小会員の困りごと  <ねらい> 中小会員の困りごとを吸い上げ、 車工会として出来ることを論議し、 中小支援を充実させる。	(1) 中小会員経営における効果的な支援策 ① 各部会における中小支援活動の共有・論議 ② 中小会員合同マネジメント研修の継続開催 ③ 生産性向上のための設備投資アイテムの収集と共有 ・DX化、自動化、ロボット化、からくり、等 (2) 各部会の困りごと共有(各部会報告)と対応検討 ① 既存課題への対応 ② 新規課題への対応 ③ CN課題への対応 (2) 関連団体と連携した税制・法制への要望活動 ① 税制改正要望まとめ ② 規制改革要望推進 ③ 外国人育成就業制度対応(技能実習制度改正) ・3団体WG参画(自工会/部工会/車工会)	中央業務委員 事務局	各部会活動	○												
中小会員NW強化WG	3. 中小企業会員のネットワーク強化と 相互研鑽の仕組みづくり  <ねらい> 中小会員のビジネス形態を学び、 課題などを共有、共に議論して 将来のための気づきと可能性を探る。	(1) 中小会員ネットワーク強化WG開催: 成果物の会員展開 (2) 業務軸ネットワーク ① 製造部門人材交流「製造マン勉強会」継続開催 ② 人事/労務関係各社困りごと共有 (3) モチベーションネットワーク: 訪問ヒアリング開催(2回/年)	事務局	①		○#2											(1) WG#1(6/24予定) (2) ① 製造マン勉強会#2(6/12予定) ② (3) 訪問HRG#1(9月予定)
安全衛生	4. 安全衛生活動WG ★  <ねらい> 安全衛生活動に寄与する情報発信 と活動支援を行う。	(1) 安全衛生活動WG開催 (2) 会員各社の現地現物確認(工場見学) (3) 会員からの事例収集と会員への事例提供(当会HP掲載) (4) 安全衛生関連法規情報アナウンス	事務局	○#1			○#2		○#3					○#4			(1) WG#1(6/10予定) (2) (3) (4)
技能研修	5. 現地現物による技能系社員研修 ★  <ねらい> 中小会員の現場監督者層研修を 通し、自社の現場力アップを支援する。	(1) 従来研修実施(小型部会講師、1拠点/年、3年輪番制) 2026:日産車体、27:トヨタ車体、28:トヨタ自動車東日本 (2) 新規研修検討: 会員要望継続募集	事務局	調整	募集		準備		開催								(1) 日産車体 湘南工場(9月予定) (2)



## 3. 部会事業計画及び部会役員

# 3 - 1 .部会の現状認識と活動方針

部会		内容
特装	現状認識	<ul style="list-style-type: none"> <li>生産台数：2025年暦年 特装部会全体の生産台数は45,497台(前年比97.0%)、国内輸送系は27,295台(同94.1%)、国内作業系は12,870台(同106.0%)、輸出は5,332台(同92.4%)となっている。</li> <li>技術、サービス及び業務の3つの委員会の他に、特装車特有の車両法規対応車種毎の課題等を解決するため、9の専門分科会を設置し活発に活動している。</li> <li>車両法規への対応：次の事項の動向を注視し、適切な対応が必要 協定規則の採用や改正案に対する当会の意見反映 国内法規改正前の意見反映 会員の困りごとの洗出し、会員支援</li> </ul>
	活動方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>CN困り事に対する意見交換の場としてCNワーキングを開催(6/10,8/20,10/15)</li> <li>車両関係法規への対応</li> <li>特装車の適正使用の推進、架装物の点検整備促進活動</li> <li>競争法に関わるコンプライアンス規定の徹底</li> </ul>
特種	現状認識	<ul style="list-style-type: none"> <li>原材料の高騰、人材不足、シャシ納入の不安定さに加え、中東情勢の緊迫化による塗料やその他原油製品の供給不足や価格高騰は車両生産に大きな影響を与えており、会員の厳しい状況は継続</li> <li>法規関連：R165後退通報装置、R73サイドバンパー、新規検査における基準適用日 R155CS/SU (サイバーセキュリティ/ソフトウェアアップデート)</li> <li>環境対応：カーボンニュートラルに向けた具体的な削減活動</li> </ul>
	活動方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>法規関連項目への対応</li> <li>新規検査時のトラブルや審査方法の不明点等の解決</li> <li>基準化、標準化活動の充実 (JABIA規格、各種法規対応手順書等)</li> <li>会員の困り事への対応</li> <li>CNに向けた会員支援</li> <li>会員の知識向上、相互研鑽の場の提供</li> </ul>

### 3 - 1 .部会の現状認識と活動方針

部会		内容
トラック	現状認識	<ul style="list-style-type: none"> <li>・原材料の高騰、人手不足等を含め会員会社の厳しい状況は継続</li> <li>・サイバーセキュリティをはじめとする法改正対応</li> <li>・2050年カーボンニュートラル達成に向けた活動の促進</li> </ul>
	活動方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基準化、標準化活動の推進（メンテナンスニュースニュース、各種法規対応手順書等）</li> <li>・会員支援の強化、他部会や先進事例の情報共有・会員の困り事への対応</li> <li>・環境委員会と連携したCN推進活動</li> <li>・会員企業間の連携強化による活動の促進(工場見学開催の増加による部会参加委員増加)</li> </ul>
バン	現状認識	<ul style="list-style-type: none"> <li>・原材料の高騰、人手不足等を含め会員会社の厳しい状況は継続</li> <li>・サイバーセキュリティをはじめとする法改正対応</li> <li>・2050年カーボンニュートラル達成に向けた活動の促進</li> </ul>
	活動方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基準化、標準化活動の充実（安全輸送ニュース、各種法規対応手順書等）</li> <li>・会員支援の強化、他部会や先進事例の情報共有・会員の困り事への対応</li> <li>・環境委員会と連携したCN促進活動</li> </ul>

### 3 - 1 .部会の現状認識と活動方針

部会	内容	
トレーラ	現状認識	1) 法令: トレーラ関係法令対応必要 2) 規制: 緩和要望や調整の継続活動、及び情報把握や他団体との連携要 3) 安全性: ABSの安全性・ROCの横転抑制効果の周知普及活動の継続要 4) 日常点検: 車両火災と脱輪事故予防のため点検重要性周知活動の継続要 5) 整備事業者: 点検分解整備記録簿の周知・改善活動の継続要 6) 純正部品: トレーラメーカーの総意として、純正部品使用周知活動の継続要 7) 環境及びカーボンニュートラル(CN): 車工会全会員の対応要
	活動方針	1) 従来からの活動である下記周知活動の継続取組 「安全への取組み」、「関係法令の改正などに伴う的確な対応」、「品質技術向上」、 「会員事業の活性化支援活動」、「環境への取組み」、「経年車の安全な使用に向けて」 2) 2015年度から実施している「点検整備の必要性が顧客に展開・周知できる仕組みの整備」活動の継続 3) カーボンニュートラル(CN): 個社活動の積極的取組、好事例をトレーラ部会内で共有し良いとこ取り
バス	現状認識	1) 少子高齢化による利用者数の減少や運転士不足、赤字路線の減便など深刻な状況が継続中 2) 安全・環境・バリアフリー・利便性の更なる向上に加え、EVバスや自動運転、完全キャッシュレス対応への継続取組要
	活動方針	1) バリアフリー対応推進(色覚含む)、バス車体安全対応の効率的な設計/製造 2) 会員各社及び他団体(自工会、日本バス協会、他)との連携強化促進 3) 安全性と品質の更なる向上に向けた活動の積極的な推進

# 3 - 1 .部会の現状認識と活動方針

部会	内容	
小型	現状認識	1) 付加価値のハード⇒ソフトへのシフト (SDV化) 2) 従来からのC Nに加え、新7つの課題※への対応が急務 ※重要資源・部品の安全保障、マルチパスウェイの社会実装、CEの仕組みづくり、人材基盤の強化、自動運転を基盤として交通システムの確立、自動車関連税制抜本改革、サプライチェーン全体での競争力強化 (出展; 日本自動車工業会)
	活動方針	1) 会員間で連携を密に取り、工業会全体の運営に積極的に参画し、車体業界ならびに日本産業界の発展へ寄与する 2) 会員間、異業種企業との「つながり」および「相互研鑽」を促進する
資材	現状認識	1) 会員数108社予定 ( 2025年度 入会 4社 退会 3社) 2) 最近の新入会員の入会目的は技術、法規情報の入手、難燃性素材の登録関係が主 3) 会員構成は大企業から中小企業まで幅広く分布しており多様 4) カーボンニュートラル、SDGs等の対応 5) 2025年のバス生産状況はインバウンドもあり増加傾向 6) 非量産車がほぼ前年比同 7) 自動車平均使用年数の長寿命化 8) ECE規格等国际規格への対応
	活動方針	1) 部会からの会員の新品、会社としての環境対応の取組等有益な情報発信 2) 部会としての安全をテーマに再帰反射材の貼付促進活動実施

## 3 - 2. 部会役員一覧

		役職	氏名	会社名	会社役職
特装部会	部会	部会長	赤坂 学	カヤバ(株)	専務執行役員 特装車両事業部長
		副部会長	北村 和則	兼松エンジニアリング(株)	代表取締役専務
		部会監事 *	花田 広幸	(株)モリタ	執行役員
	技術委員会	委員長 *	三瓶 宣人	新明和工業(株)	特装車事業部品質保証部 部長
		副委員長	新井 佳和	極東開発工業(株)	技術本部営業技術部 部長
	サービス委員会	委員長	嶋田 弘明	新明和オートエンジニアリング(株)	サービス本部 サービス本部長 兼 サービス部長
		副委員長	松本 謙 山口 健治	小平産業(株) 極東開発工業(株)	営業部 部品・修理担当 次長 首都圏サービス課 課長
	業務委員会	委員長	西村 誠	新明和工業(株)	営業本部直販営業部 部長
		副委員長	宮野 圭司 眞田 淳二	極東開発工業(株) (株)タダノ	営業本部中部支店長 国内営業企画第二部 部長

## 3-2. 部会役員一覧

		役職	氏名	会社名	会社役職
特装部会	各分科会 主査	ダンプ車	技 * 上野 嘉和	極東開発工業(株)	技術本部営業技術部部長
			業 * 立岡 直樹	新明和工業(株)	特装車事業部 営業本部 東京営業部長
		脱着キャリア	技 松下 晃久	新明和工業(株)	佐野工場設計部ダンプ・脱着Gグループ長
			業 平島 尚	新明和工業(株)	営業本部 直販営業部 副部長
		脱着車 コンテナ	技 三ツ井 実	極東開発工業(株)	生産本部 三木工場 第三設計課 課長
			業 佐々木 靖彦	極東開発工業(株)	営業本部首都圏支店長
		ミキサ車	技 上條 崇史	カヤバ(株)	熊谷工場技術部 部長
			業 * 佐藤 友彦	カヤバ(株)	特装車両事業部営業部 専任部長
		塵芥車	技 木村 隆寿	新明和工業(株)	特装車事業本部広島工場設計部 部長
業 西村 誠	新明和工業(株)		営業本部直販営業部 部長		
クレーン	技 鈴木 和幸	古河ユニック(株)	開発設計部架装設計課 課長		
	業 眞田 淳二	(株)タダノ	国内営業企画第二部 部長		
ローリ	技 * 中田 範明	新明和工業(株)	佐野工場設計部タンクグループ グループ長		
	業 倉沢 俊彦	東邦車輛(株)	営業本部 直販部 次長		
粉粒体 運搬車	技 清藤 英樹	極東開発工業(株)	名古屋工場設計課第一グループ 係長		
	業 宮野 圭司	極東開発工業(株)	営業本部中部支店長		
清掃車		松岡 誠	兼松エンジニアリング(株)	技術開発部 マネージャー	

## 3 - 2. 部会役員一覧

		役職	氏名	会社名	会社役職
特種 部会	部会	部会長	森 孝義	中京車体工業(株)	代表取締役社長
		副部会長	内海 嘉則 西岡 偉久	(株)オートワークス京都 東京特殊車体(株)	取締役COO 代表取締役社長
		部会監事	坪井 弘一	坪井特殊車体(株)	代表取締役社長
	技術 委員会	委員長	常盤 博之	東京特殊車体(株)	経営戦略室 室長
		副委員長	若井 幸一	いすゞ車体(株)	先行開発部 部長
			寺川 章太	(株)イズミ車体製作所	業務部 業務課 係長
			安部 康一	日産モータースポーツ&カスタイズ(株)	カスタマイズ技術管理部 スペシャリスト
			佐藤 聖哲	(株)トヨタカスタマイジング & ディベロップメント	開発本部 名古屋技術部 第2特装開発室第5車両G グループ長
	武澤 真幸		(株)野口自動車	設計部 部長	
	アドバイザー	小坂 浩二	(株)トヨタカスタマイジング & ディベロップメント	品質保証室 プロフェッショナルアソシエイト	
	業務 委員会	委員長	神尾 将光	(株)ケイエムオー	代表取締役
		副委員長	稲見 龍	京成自動車工業(株)	常務取締役
野口 隆行			光伸(株)	代表取締役社長	
堀田 和宏			札幌ボデー工業(株)	代表取締役社長	
殿内 崇生	(株)トノックス		代表取締役社長		

## 3 - 2. 部会役員一覧

		役職	氏名	会社名	会社役職
トラック 部会	部会	部会長	近藤 匠	名古屋ボデー(株)	代表取締役社長
		副部会長	山田 和典	山田車体工業(株)	代表取締役社長
			藤田 健一郎	フジタ自動車工業(株)	代表取締役社長
	部会監事	細谷 康次	本所自動車工業(株)	代表取締役社長	
	技術 委員会	委員長	大橋 剛	(株)浜名ワークス	技術部特殊車設計グループ課長
		副委員長	岸本 友介	NX商事(株)	整備制作部東京製作所設計第一課 課長
			* 山中 紳吾	本所自動車工業(株)	技術課
	業務 委員会	委員長	山田 和典	山田車体工業(株)	代表取締役社長
		副委員長	細谷 康造	本所自動車工業(株)	取締役
			加藤 俊宏	(株)相模ボデー	代表取締役社長
車両運搬車 分科会	分科会長	細谷 貞治	細谷車体工業(株)	代表取締役社長	

## 3 - 2. 部会役員一覧

		役職	氏名	会社名	会社役職
バン 部会	部会	部会長	田中 俊和	日本フルーフ(株)	代表取締役社長
		副部会長	矢野 彰一	(株)矢野特殊自動車	代表取締役社長
			秋山 健	(株)パプコ	代表取締役社長
	部会監事	* 水野 隆	(株)トランテックス	営業本部副本部長	
	技術 委員会	委員長	中川 信之	(株)矢野特殊自動車	バン車事業部技術部本部 本部長
		副委員長	渡邊 篤史	パプコ(株)	製品開発本部 設計1部ボデー設計グループ マネージャー
			* 石坂 友義	東プレ(株)	冷凍機器事業部 技術部本部 技術部設計企画G 課長
	業務 委員会	委員長	最所 英巳	日本フルーフ(株)	営業・CS企画部 部長
副委員長		川原 陽介	(株)矢野特殊自動車	中央営業部 部長	
		* 原 康雄	(株)北村製作所	取締役 車両事業本部 本部長	

## 3 - 2. 部会役員一覧

		役職	氏名	会社名	会社役職
トレーラ 部会	部会	部会長	能條 幹也	(株)花見台自動車	代表取締役
		副部会長	黒田 穰	昭和飛行機工業(株)	執行役員
		副部会長	野村 晃嗣	日本フルハーフ(株)	常務取締役
		部会監事	青柳 繁生	NX商事(株)	整備製作部 東京製作所 営業第一課長
	技術 委員会	委員長	森 孝夫	日本トレクス(株)	設計部 担当部長 兼 申請業務課長
		副委員長	中津留 徹也	東邦車輛(株)	生産統括部 設計部 トレーラ設計課 課長
			渡辺 英彦	日本フルハーフ(株)	開発第二部 製品グループリーダー
	サービス 委員会	委員長	酒巻 徹	日本フルハーフ(株)	トレーラビジネスユニット 担当部長
		副委員長	時田 宗一	東邦車輛(株)	サービス事業本部 サービス部 技術課 課長
			松尾 文徳	日本トレクス(株)	サービス部 部長
	製品安全 小委員会	委員長	山本 輝雄	日本トレクス(株)	執行役員 サービス本部 副本部長 兼 品質保証部 部長
		副委員長	長嶋 隆	東邦車輛(株)	技術統括部 品質管理部 部長
			金子 保裕	日本フルハーフ(株)	品質保証部 担当部長
	業務 委員会	委員長	村中 洋	東邦車輛(株)	営業本部 副本部長 兼 業務部長
副委員長		梶ヶ谷 剛	日本トレクス(株)	マーケティング部 部長	
		酒巻 徹	日本フルハーフ(株)	トレーラビジネスユニット 担当部長	

## 3 - 2. 部会役員一覧

		役職	氏名	会社名	会社役職
バス 部会	部会	部会長	藤岡 佳一郎	三菱ふそうバス製造(株)	代表取締役社長
		部会監事	渡辺 昌也	日産車体(株)	常務執行役員
		部会役員	西原 正人 石川 拓生	ジェイ・バス(株) トヨタ車体(株)	代表取締役社長 シニアフェロー
	技術 委員会	委員長	古川 義治	三菱ふそうバス製造(株)	バス技術部 部長
	ワンマン機器 小委員会	委員長	水野 貴弘	ジェイ・バス(株)	小松製品企画・開発設計部 先行・実験グループ グループリーダー
	塗装デザイン 研究会	委員長	手塚 学	ジェイ・バス(株)	宇都宮工場 製造部 管理課 課長
	業務 委員会	委員長	西岡 衛	三菱ふそうバス製造(株)	バス工作部 部長
小型 部会	部会	部会長	松尾 勝博	トヨタ車体(株)	代表取締役社長
		部会監事	原田 聡	トヨタ自動車九州(株)	生産企画本部長
	技術 委員会	委員長	苅和 直人	トヨタ車体(株)	L C 事業部 企画・統括 主査
		副委員長	菊地 保広	日産車体(株)	実験部 部長
	経営企画 部門委員会	委員長	林田 慎太郎	トヨタ自動車東日本(株)	地域連携推進領域長
副委員長		鷹見 昭人	トヨタ自動車九州(株)	コーポレート本部 統括部長	

## 3 - 2. 部会役員一覧

		役職	氏名	会社名	会社役職
資材 部会	部会	部会長	市橋 康男	市岡(株)	代表取締役社長
		副部会長	* 川名 一嘉	(株)矢口製作所	代表取締役社長
			松澤 寿一	(株)松沢商会	代表取締役社長
		監事	榎本 徹	(株)オージ	相談役
	久保 航一		(株)昭和	取締役会長	
	第一 分科会	分科会長	藤池 一誠	(株)デサン	代表取締役社長
		* 青山 雅一	住江織物(株)	執行役員車両資材事業部門長	
		* 小林 一雄	シーカ・ジャパン(株)	バイスプレジデント	
		吉川 徳雄	天龍工業(株)	代表取締役社長	
		山田 徹	吉村製材(株)	第三営業グループ 部長	
	第二 分科会	分科会長	* 中園 英太郎	(株)五光製作所	代表取締役社長
			鈴木 基之	(株)エスワイエス	代表取締役社長
			西田 一成	泰平電機(株)	代表取締役社長
			黒木 政裕	レシップ(株)	販売推進部 C V 営業グループ グループ マネージャー

## 3 - 3. 部会事業計画



3-3. 部会事業計画  
2026年度事業計画 (特装部会技術分科会)

	項目・ねらい	実施項目	日程 2026年度												評価	実績 及び 課題	
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
特装部会分科会	分科会																
	(1) ダンプ車	①ダンプ車における共通課題 ①-1 各種法改正への対応検討 ①-2 良品化(品質向上、安全性向上)の検討 ①-3 解体マニュアルの見直し ②ものづくり研究 (他分科会との合同開催)															
	(2) 脱着キャリア	①脱着キャリアにおける共通課題 (各種法改正による問題点抽出と対応検討) ②ものづくり研究 (他分科会との合同) ③新型キャリアの審査 ④キャリア・コンテナ互換性定期審査															
	(3) 脱着コンテナ	①脱着コンテナにおける共通課題 (各種法改正による問題点抽出と対応検討) ②ものづくり研究 (他分科会との合同) ③新型コンテナの審査 ④キャリア・コンテナ互換性定期審査															
	(4) ミキサ車	①ミキサ車における共通課題 各種法改正による問題点抽出と対応検討 ②ものづくり研究 (他分科会との合同も検討) ③新型ミキサドラム型式の国交省届出 ④ミキサ車のドラム製作基準(JABIA-P1600)見直し															
	(5) 塵芥車	①塵芥車における共通課題 (各種法改正による問題点抽出と対応検討) ②ものづくり研究 (他分科会との合同) ④ISO/TC297対応 ⑤塵芥車荷箱容積中心位置の国交省届出/四半期毎															
	(6) ローリー車	①ローリー車における共通課題 (各種法改正による問題点抽出と対応検討) ②ものづくり研究 (他分科会との合同) ③関連メーカー及び団体との情報交換実施 (全国危険物安全協会・消防等)															
	(7) 粉粒体運搬車	①粉粒体運搬車における共通課題 ①-1 各種法改正による問題点抽出と対応検討 ①-2 良品化の検討 ②ものづくり研究 (他分科会との合同)															
	(8) クレーン車	①クレーン車における共通課題 (各種法改正による問題点抽出と対応検討) ②ものづくり研究 (他分科会との合同)															
(9) 清掃車	①清掃車における共通課題 (各種法改正対応検討) ②強力吸引車取説リスクアセスメント見直し ③ものづくり研究 (他分科会と合同) ④ISO/TC297/TC195対応(都度対応)																
テールゲートリフト技術分科会	①各種法改正による問題点抽出と対応検討 ②TGLの安全性向上に関する取組み ③TGLの突入防止装置及びみなしパンパ解説書見直し																



3-3. 部会事業計画

2026年度事業計画（トラック部会）

部会長：近藤理事 事務局：鶴見

◎：大幅超過(120%以上) ○：ほぼ計画通り(90%以上) △：若干未達(60%以上) ×：未達(60%以下) -：評価対象外

項目・ねらい	実施項目	担当	日程 2026年度												評価	実績 及び 課題			
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月					
ト ラ ッ ク 部 会	1. 部会全体活動 （ねらい）部会内の横断的事業の展開、活動による活性化。	(1)部会総会、部会の開催 (2)車両法規改正情報の展開状況の共有 (3)リコール等重大不具合の再発防止共有活動 (4)工場見学会の実施 (5)2029年度CN目標達成に向けた活動	部 会	○ 9			○ 10			発生の都度		○ 18							(1)部会総会(4/9) (2)官公庁情報の会員展開 件。意見照会 件、法規改正等 件、その他 件 (3)件の情報を会員展開 (4)7/10レシブ(株)見学と部会併催予定 12/18スリーエムジャパン(株)見学と部会併催予定 (5)環境委員会・工場環境分科会と連携した活動
	2. 車両関係法規の対応 （ねらい）車両法規の改正情報の共有と法規対応への課題の整理、対応	(1)新法規制定、法規変更内容の共有 ・各種法規の進捗情報共有を継続  (2)技術的困りごとの洗出しと会員支援等	技 術 委 員 会		○ 22			○				○						○	
	3. 規格化・標準化・共通化・調査研究の推進 （ねらい）品質向上及び、共同で調査研究することによる効率化、経費節減	(1)メンテナンスニュースの発行  (2)JABIA規格見直し  (3)調査研究テーマの検討 (4)技術委員会による工場見学	技 術 委 員 会				項目の抽出										内容の検討		(1)平ボデーメンテナンスニュース(床フックの推薦耐荷重の基準化) ・床フックを取り付けた状態で引張試験を行い、推奨耐荷重の基準化を図ることで破損防止や安全に基づいた使用を周知する。 本年度は2027年度の試験実施に向けて事前準備の期間とする。 (2)JABIA規格見直し ・Uボルトの 推奨規格品 → 前回見直し時期より5年経過したため再度見直し時期 (3)委員会内にて適宜論議を行う (4)9/未(株)矢野特殊自動車見学と技術委員会を併催予定
	4. 架装物の安全点検整備の推進 （ねらい）架装物の適正使用の推進 架装物安全点検制度の普及	(1)点検整備推進分科会論議内容の共有・論議 (2)その他部会固有の周知活動	推 進 分 科 会																(1)架装物安全点検制度運用状況報告 (2)
	5. 他団体との連携 （ねらい）関連団体との情報交換等による、技術レベル/品質の向上	(1)車両運搬車を取り巻く環境や直近の情報共有  (2)車両運搬車の法規と安全対策 (2)その他情報共有	車 両 運 搬 車 分 科 会		○							○							(1)5/に開催予定 (2)車両運搬車の法規と安全対策 (3)各社の課題などの情報共有
	6. 会員企業経営支援、困り事対応等 （ねらい）会員企業会員の困り事に	(1)中央業務委員会内容の共有・論議 (2)会員企業の困り事収集と対応論議 (3)会員にとって有益となる内容検討と実施項目 (4)工場見学会の実施	業 務 委 員 会			○ 9			○ 8			○ 11					○ 9		(1)2026年度の会員支援取り組み内容について論議 (2)情報共有、困り事対応等 (3)会員にとって有益となる内容検討と実施項目 ①トラックの登録台数調査の継続 → 2月分の登録台数データを会員展開 (4)6/9共立工業(株)見学と業務委員会を併催予定 12/11(株)柳沼ボデー工場見学と業務委員会を併催予定

3-3. 部会事業計画

2026年度事業計画（バン部会）

部会長：田中理事 事務局：鶴見

◎：大幅過達(120%以上) ○：ほぼ計画通り(90%以上) △：若干未達(60%以上) ×：未達(60%以下) -：評価対象外

項目・ねらい	実施項目	担当	日程 2026年度												評価	実績 及び 課題				
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月						
バン部会	1. 部会全体活動 (ねらい)部会内の横断的事業の展開、活動による活性化。	(1)部会総会、部会の開催 (2)車両法規改正情報の展開状況の共有 (3)リコール等重大不具合の再発防止共有活動 (4)工場見学会の実施 (5)2029年度CN目標達成に向けた活動	部会	○ 9			○ 10			○ 発生の都度			○ 見学会の検討・計画						(1)部会総会(4/9) (2)官公庁情報の会員展開 件。意見照会 件、法規改正等 件、その他 件 (3)件の情報を会員展開 (4) (5)環境委員会・工場環境分科会と連携した活動	
	2. 車両関係法規の対応 (ねらい)車両法規の改正情報の共有と法規対応への課題の整理、対応	(1)新法規制定、法規変更内容の共有 ・各種法規の進捗情報共有を継続  (2)技術的困りごとの洗出しと会員支援等	技術委員会	○ 22		○		○		○										
	3. 規格化・標準化・共通化・調査研究の推進 (ねらい)標準化・共通化による品質向上、共同で調査研究することによる効率化、経費節減	(1)ガイドラインの発行  (2)JABIA規格見直し  (3)調査研究テーマの検討 (4)技術委員会による工場見学	技術委員会	内容検討	事例収集	原案作成	部会報告・修正													(1)バン型車安全輸送ニュースNo.10発行 or 過去の製作物の更新見直し ・ (2)JABIA規格見直し ・バン型車への再帰反射材(図解・Q&A) ・バン型車に関する用語 (3)委員会内にて適宜論議を行う (4)第3回技術委員会と併催して(株)矢野特殊自動車を見学予定
	4. 架装物の安全点検整備の推進 (ねらい)架装物の適正使用の推進 架装物安全点検制度の普及	(1)点検整備推進分科会論議内容の共有・論議 (2)その他部会固有の周知活動	推進分科会																	(1)架装物安全点検制度運用状況報告 (2)
	5. 他団体との連携 (ねらい)関連団体との情報交換等による、技術レベル/品質の向上	(1)日本冷凍空調工業会との意見交換	技術委員会	報告内容検討							○ 日本冷凍空調工業会との意見交換会									(1)11/に開催予定
	6. 会員企業経営支援、困り事対応等 (ねらい)会員企業会員の困り事に	(1)中央業務委員会内容の共有・論議 (2)会員企業の困り事収集と対応論議 (3)会員にとって有益となる内容検討と実施項目	業務委員会		○ 9				○ 8					○ 11						(1)2026年度の会員支援取組み内容について論議 (2)情報共有、困り事対応等 (3)会員にとって有益となる内容検討と実施項目 ①バンの登録台数調査の継続 → 2月分の登録台数データを会員展開





3-3. 部会事業計画  
2026年度事業計画(小型部会)

部会長：松尾理事 事務局：松本

◎:大幅過達(120%以上) ○:ほぼ計画通り(90%以上)  
△:若干未達(60%以上) ×:未達(60%以下) -:評価対象外

項目・ねらい	実施項目	担当	日程 2026年度												評価	実績 及び 課題			
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月					
<b>小</b> <b>型</b> <b>会</b> 1. 部会全体活動 (ねらい) 部会内の横断的事業の展開・活動による部会&車工会の活性化	(1)部会総会の実施	部会	○																
	(2)車両法規改正情報の展開状況の共有																		
	(3)リコール等重大不具合の再発防止共有活動																		
	(4)工場見学会@トヨタ自動車九州+安川電機																		
	(5)2030年度CN目標達成に向けた活動																		
	訪問支援活動 支援メンバーの派遣																		
2. 車両関係法規の対応	- (小型部会該当せず)																		
3. 規格化・標準化・共通化・調査研究の推進	- (小型部会該当せず)																		
4. 架装物の安全点検整備の推進	- (小型部会該当せず)																		
5. 中小企業経営支援、困り事対応等 (ねらい) 中小企業会員の困り事に対する支援、安全衛生/人材育成支援	(1)中央業務委員会内容の共有・論議																		
	(2)中小会員の困り事収集と対応論議																		
6. 他団体との連携	(3)安全衛生活動WG情報の共有																		
	(4)中小会員ネットワーク強化WG情報の共有																		
	(5)中小会員向け研修の展開(技能系社員研修、管理監督者研修等) 技能系社員研修の受入れ (日産車体 平塚)																		
7. 部会固有活動 (ねらい) 異業種の取組みを学び、自社事業への参考とする 会員間で相互を学び、自社事業への参考とする	(1)異業種訪問の実施 視察先候補 ※各社の課題解決へ貢献できる視察先を選定 ダイフク(世界再王手のマテハン企業)+アルナ矢野 [9/3-4または10-11]	技術・経企																	
	(2)技術委員会 技術ワイガヤ会の開催(委員対象) 若手エンジニア技術交流会の開催(各社の従業員対象)	技術																	
	(3)経営企画部門委員会 経営課題ワイガヤの開催(委員対象)	経企																	

3-3. 部会事業計画

2026年度事業計画（資材部会）

部会長：市橋理事 事務局：信澤

項目・ねらい	実施項目	担当	日程 2026年度												評価	実績 及び 課題		
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
1. 部会全体活動 〈ねらい〉部会内の横断的事業の展開、活動による活性化。	(1)部会総会、部会、部会長報告会 等の実施 (2)車両法規改正情報の展開状況の共有 (3)リコール等重大不具合の再発防止共有活動 (4)工場見学会の実施 (5)2030年度CN目標達成に向けた活動 (6)役員会の開催（年2回予定 上期、下期） (7)分科会活動の推進（第一分科会、第二分科会） (8)海外視察の実施	部会	○														(1)総会を開催(4/24社) (2)部会、会員間情報共有 (3)部会、会員間情報共有 (4)見学先 時期 (5)エネルギー調査の実施 (6)開催時期、場所 (7)分科会活動：第一分科会、第二分科会：各分科会で企画 (8)候補地：IT企業等発展が著しい台湾企業の視察を計画（9月～10月）	
						随時												
						随時												
						計画												
										準備		○						
2. 車両関係法規の対応 〈ねらい〉車両法規の改正情報の共有と法規対応への課題の整理、対応	(1)新法規制定、法規変更内容の共有 ECE対応への取組 ・R158-後退時車両直後確認装置 ・R165-車両後退通報装置 (2)技術的困りごとの洗出しと会員支援等 車体塗装の技術・技能向上への参画（塗装技術者向け勉強会）	部会														(1)会員間での情報共有  (2)2026年度：塗料技術者向け勉強会 講師		
						随時												
						随時												
3. 規格化・標準化・共通化・調査研究 の推進 〈ねらい〉標準化・共通化による品質向上。共同で調査研究することによる効率化、経費節減	(1)JABIA規格化、ガイドライン作成等の実行 バス部会等他部会との協力 ・中央技術委員会エントリー項目の推進 ・JABIA規格棚卸し：JABIA規格制定、改定への参画 ・部会内活動 (2)調査研究テーマの検討、推進 フィルムグループ：安全対応として再帰反射材貼付効果の検証	各グループ														(1)部会委員が参画  ・技術発表会を活用した技術情報の展開を計画（3月開催）  (2)フィルムグループ：2026年度事業内容の確認、検討、分担等審議 「安全対策としての再帰反射材の貼付義務化に向けた対応」検討		
4. 安全点検整備の推進 〈ねらい〉架装物の適正使用の推進 架装物安全点検制度の普及	(1)難燃性JABIA素材登録の適切な運用 ・難燃性試験実態調査の実施推進 (2)その他部会固有の周知活動	部会														(1)難燃性試験実態委員会を開催予定(上期) 実態調査の実施→3社から4社計画		
5. 環境への取組み 〈ねらい〉環境にやさしい車体作りの促進。	(1)環境リサイクルへの取組事例 (2)VOC排出量調査状況の共有	部会														(1)部会会員会社として事例を収集し情報共有		
6. 中小企業経営支援、困り事対応等 〈ねらい〉中小企業会員の困り事に 対する支援、安全衛生/人材育成支援	(1)部会会員の会社、製品、技術の情報発信（機関誌、WEBの活用） (2)中小会員の困り事収集と対応論議 (3)中小会員向け研修の検討	役員会														(1)機関紙を活用 会員会社を紹介  (3)部会としての講演会を実施：(4/24) テーマ：「バスラマの取材で見える日本のバスの明日」 講師：和田 由貴夫 氏（ジャーナリスト）		
7. 他団体との連携 〈ねらい〉関連団体との情報交換等 による、技術レベル/品質の向上	JSAE、JASIC、国交省 等 (1)自動車技術会 車室内VOC測定分科会 (2)基準認証国際化センター(JASIC)灯火器分科会	各委員・事務局														委員を各団体に参画し、活動内容を都度報告(4/25) 委員を各団体に参画し、活動内容を都度報告(4/25)		

## 4. 支部事業計画及び支部概要一覧

# 4. 支部事業計画及び支部概要一覧

## 4-1) 支部事業計画一覧

		北海道	東北	新潟	関東	中部	近畿	中国	四国	九州
支部総会		4月15日 札幌東急REIホテル	4月17日 江陽グランドホテル	4月17日 万代シルバーホテル	4月21日 芝パークホテル	4月23日 サイプレス ガーデンホテル	4月23日 ホテルグランディア京都	4月24日 シラノグランド ホテル広島	4月24日 リーガホテルベスト高松	4月23日 八仙閣本店
役員会		3回 部会・総会 活動検討	2回 事業計画等検討	1回 事業計画等検討	3回 事業計画等検討 支部の在り方検討	6回 内 企画会議 5回	2回 事業計画等検討	3回 事業計画等検討	1回 事業計画等検討	3回 事業計画等検討
安全	不正改造 排除活動	○	○	○	○	○	○	○	○	○
環境	CN本部情報 展開	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	CN勉強会		○		○	○	○	○	○	○
その他	PL保険 加入促進	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	各種研修会	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	他	合同部会 工場見学会 異業種交流会	工場見学会	工場見学 会員大会	県会内査察 見学会 講演会	部会、分会 見学会	部会・・3回 見学会	研修会	見学会 秋季研修会	合同3部会 秋季研修会

# 4. 支部事業計画及び支部概要一覧

## 4-2) 支部概要

支部名	支部長 (所属会社・役職)	会 員 数				事務局位置 ( ) は担当職員
		正 会 員	地 方 正 会 員	準 会 員	計	
北海道	村松 寛明 北海道車体(株) 代表取締役社長	6	7	1	14	北海道北広島市大曲工業団地2丁目7-3 北海道車体(株) 内 011-376-2111 (三浦事務局長)
東北	鈴木 勇人 仙台鈴木自動車工業(株) 代表取締役	8	10	1	19	宮城県仙台市宮城野区扇町3-8-34 仙台鈴木自動車工業(株) 内 022-231-9196 (日野事務局長)
新潟	丸山 正範 (株)丸山車体製作所 代表取締役社長	4	12	1	17	新潟県新潟市江南区両川1丁目1201-13 (株)松沢商会 内 025-280-6800 (松澤事務局長)
関東	星 浩由 (株)ヤシカ車体 代表取締役	78	26	1	105	東京都港区芝大門1-1-30 (一社)日本自動車車体工業会 内 03-3578-1681 (内藤担当) (株)ヤシカ車体 内 0299-44-8844 (石塚担当)
中部	安藤 章宏 (株)東海特装車 取締役社長	29	9	6	44	愛知県名古屋市昭和区滝子町30-16 愛知県自動車会館内 4F 052-881-5255 (満留事務局長)

支部名	支部長 (所属会社・役職)	会 員 数				事務局位置 ( ) は担当職員
		正 会 員	地 方 正 会 員	準 会 員	計	
近畿	須河 進一 須河車体(株) 代表取締役社長	10	8	4	22	京都府綴喜郡宇治田原町立川坂口13番地 須河車体(株) 内 0774-88-4641 (並木事務局長)
中国	上野 孝弘 フェニックス工業(株) 代表取締役社長	11	8	1	20	広島県廿日市市木材港北13-1 共立工業株式会社 内 0829-31-2255 (河野事務局長)
四国	北村 和則 兼松エンジニアリング(株) 代表取締役専務	4	6	0	10	高知県高知市布師田3981番地7 兼松エンジニアリング(株) 内 088-845-5511 (林事務局長)
九州	矢野 彰一 (株)矢野特殊自動車 取締役社長	10	9	3	22	福岡県糟屋郡新宮町上府北4丁目2-1 (株)矢野特殊自動車 内 092-963-2017 (古賀事務局長)
合 計		160	95	18	273	

# 2026年度 予算書

自 2026年4月1日  
至 2027年3月31日

2026年5月22日  
一般社団法人 日本自動車車体工業会

2026年度収支予算（案）	-----	1
2026年度正会員・準会員会費基準	-----	3

# 2026年度収支予算（案）

## 1. 経常費

### (収入の部)

科目	25年度 予算①	25年度 決算額②	予算計画差 (②/①)	26年度 予算③	差異 (③-①)	前年度比 (③/①)	備考
当期収入計 A	184,414	185,429	100.6%	196,244	-11,829	106.4%	
正会員会費収入	121,329	122,447	100.9%	141,662	△20,334	116.8%	
準会員会費収入	5,136	5,240	102.0%	5,136	0	100.0%	
部会会費収入	20,115	20,842	103.6%	17,060	-3,055	84.8%	
支部会費収入	8,940	8,591	96.1%	7,200	△1,740	80.5%	
負担金収入	16,546	13,352	80.7%	12,485	-4,061	75.5%	
雑収入	2,002	2,647	132.2%	2,500	498	124.9%	
収益事業収入 (ハス塗色見本帳)	700	925	132.1%	550	-150	78.6%	
繰入金収入	0	1,735	-	0	0	-	
本部負担金	9,647	9,650	100.0%	9,650	3	100.0%	
前期繰越収支差額 B	99,782	99,782	100.0%	118,878	19,096	119.1%	
収入合計 C (A + B)	284,197	285,212	100.4%	315,122	△30,925	110.9%	

### (支出の部)

科目	25年度 予算①	25年度 決算額②	予算計画差 (②/①)	26年度 予算③	差異 (③-①)	前年度比 (③/①)	備考
事業費計 D	148,050	115,077	77.7%	141,894	6,156	95.8%	
環境対策事業費	13,426	10,251	76.3%	12,327	1,099	91.8%	
安全対策事業費	14,395	11,945	83.0%	13,851	544	96.2%	
会員支援事業費	16,049	11,209	69.8%	14,033	2,016	87.4%	
広報事業費	14,516	12,281	84.6%	14,521	-5	100.0%	
部会事業費	52,955	41,215	77.8%	49,736	3,220	93.9%	
支部事業費	23,077	16,916	73.3%	25,649	-2,571	111.1%	
本部負担金	6,542	6,542	100.0%	6,542	0	100.0%	
負担金支出	6,389	3,850	60.3%	4,685	1,704	73.3%	
収益事業費	700	869	124.2%	550	150	78.6%	
管理費計 E	30,006	24,960	83.2%	29,286	720	97.6%	
人件費 F	23,057	19,846	86.1%	22,156	901	96.1%	
経常費計 G (D + E + F)	201,113	159,883	79.5%	193,335	7,777	96.1%	
積立金 H							
退職金準備金(積立)	2,200	2,200	100.0%	2,200	0	100.0%	
特定プロジェクト準備金(積立)	4,000	4,000	100.0%	8,000	△4,000	-	
備品更新準備金(積立)	250	250	100.0%	250	0	100.0%	
予備費 I	76,634	0	0.0%	0	76,634	0.0%	
支出 J (G + H + I)	284,197	166,333	58.5%	203,785	80,411	71.7%	
次期繰越収支差額 K (C - J)		118,878		111,336			

## 2. 積立金支出

科目	25年度 予算①	25年度 決算額②	予算計画差 (②/①)	26年度 予算③	差異 (③-①)	前年度比 (③/①)	備考
特定プロジェクト支出	9,200	8,344	90.7%	8,000	1,200	87.0%	
備品更新支出	0	0	-	150	-150	-	

# 2026年度 正会員・準会員会費基準

# 2026年度 正会員・準会員会費基準 (単位：円)

## 1. 正会員会費 (年額)

- ◆ 正会員年会費 = 売上高分担会費(1)×係数(※) + 資本金額高別分担会費(2) + 部会費 3
- ※ 2026年度 係数は1.0を提案

### (1) 正会員の売上高別分担会費 (年額)

ランク	売上高区分(年間)	会費額	係数	会費徴収額
1	2400億円以上	2,628,000	1.0	2,628,000
2	1200 "	2,232,000		2,232,000
3	600 "	1,836,000		1,836,000
4	360 "	1,572,000		1,572,000
5	240 "	1,500,000		1,500,000
6	120 "	1,404,000		1,404,000
7	60 "	1,212,000		1,212,000
8	36 "	1,092,000		1,092,000
9	24 "	1,020,000		1,020,000
10	12 "	948,000		948,000
11	10億8千万円以上	816,000		816,000
12	9億6千万円 "	756,000		756,000
13	8億4千万円 "	708,000		708,000
14	7億2千万円 "	600,000		600,000
15	6億円 "	504,000		504,000
16	4億8千万円 "	420,000		420,000
17	3億6千万円 "	324,000		324,000
18	2億4千万円 "	222,000		222,000
19	1億2千万円 "	156,000		156,000
20	6千万円以上	96,000		96,000
21	6千万円未満	66,000		66,000

### (2) 正会員の資本金額高別分担会費 (年額)

区別	ランク	資本金の額	会費額
専	1	40 億円以上	1,450,000
	2	30 "	1,080,000
	3	20 "	770,000
	4	10 "	470,000
	5	5 "	230,000
	6	1 "	110,000
	7	5,000万円以上	40,000
業	8	2,000 "	26,000
	9	1,000 "	20,000
	10	500 "	14,000
	11	500 万円未満	10,000
兼業	A	20 億円以上	160,000
	B	10 "	110,000
	C	10 億円未満	60,000

・「兼業」の定義

大企業のうち、車体工業会事業部門の  
売上高比率が会社全体の10%に満たない会員  
※大企業  
資本金が3億円を超え、かつ常時使用する  
従業員数が300人を超える会社

## 2. 準会員会費 (年額)

- ◆ 準会員年会費 = 準会員会費 + 部会費 3 (資材)

準会員会費	48,000	1	48,000
-------	--------	---	--------

# 2026年度 部会・支部会費基準 (単位：円)

## 3. 部会員会費 (年額)

部会	会費額	係数	2025年度
特装	30,000	0	0
分科会費 (所属分科会につき)	30,000	0	0
特種	60,000	0.6	36,000
トラック	48,000	1	48,000
バン	60,000	1	60,000
トレーラ	192,000	1	192,000
バス			
大中型	100	0.2	20
※所属会員で均等負担 小型	30	0.165	5
小型	180,000	1	180,000
資材	48,000	1	48,000

## 4. 支部会員会費 (年額)

一部支部の徴収率係数は右記の通りとする 中部：0.75、近畿：0.5、九州：0.5

支部名	会費基準	会費額
北海道	一律	30,000
東北	一律	25,000
新潟	正会員、地方正会員、地域会員	36,000
	地方正会員で新潟に本社があり 県外の営業所等の事業所の会費	12,000
関東	正会員、地方正会員	12,000
	地域会員 ※負担金18,000円を含む	30,000
中部	正会員 (年間生産額を基準に計算)	360億～ 240,000
		120億～ 120,000
		12億～ 90,000
		6億～ 60,000
		3.6億～ 48,000
	地方正会員	1.2億～ 36,000
		～1.2億 24,000
		12億～ 90,000
		6億～ 60,000
		3.6億～ 48,000
地域会員 ※負担金18,000円を別途 (年間生産額を基準に計算)	1.2億～ 36,000	
	～1.2億 24,000	
	準会員 24,000	

支部名	会費基準	会費額
近畿	正会員、地方正会員 (売上を基準に計算) ※通常会費43,000円含む	10億～ 88,000
		5億～ 78,000
	地域会員 (売上を基準に計算) ※通常会費43,000円含む	～5億 68,000
		10億～ 88,000
中国	正会員、地方正会員	～10億 78,000
		～5億 68,000
	準会員	31,000
中国	正会員、地方正会員	20,000
	地域会員	38,000
四国	正会員、地方正会員	20,000
	地域会員 ※上記に18,000円を加算	38,000
九州	正会員、地方正会員 (年間生産額を基準に計算)	36億～ 180,000
		18億～ 144,000
		9.6億～ 108,000
		5.4億～ 72,000
		2.4億～ 42,000
	地域会員 (年間生産額を基準に計算) ※負担金18,000円を含む	～2.4億 24,000
		～9.6億 90,000
		～5.4億 42,000
		～2.4億 24,000
		準会員 24,000
※部会費は1部会24,000円を加算 (トラック、バン、トレーラ、特装)		